

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス ミソラ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月9日 | | ～ 令和8年3月18日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 40名 | (回答者数) 28名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月24日 | | ～ 令和8年3月18日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月31日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ひとり一人にあったアプローチで、寄り添った支援を心がけている。 | 小集団の活動で、みんなで同じことしたり個別に課題を与えたりと、臨機応変に対応している。できることを増やし自己肯定感を高めていく。 | 異年齢での活動を経験することで、ルールや強固性を学んでいく。 |
| 2 | 楽しい場所であることを心がけている。 | 様々なプログラムを用意し、1回完結とすることで子どもたちが達成感をもてるよう工夫している。友だちと参加することで、興味のない事柄へも関心が広がるように支援している。 | 学校でいやなことがあり気分が落ち込んでいても、ミソラへは行きたいと思ってもらえる環境設定、関係を築いていきたい。 |
| 3 | 保護者が安心できる支援。 | 送迎時に直接話を聞く時間を設け、保護者の不安や心配事などを共有し、安心感に繋がるように努めている。また保護者からの要望により、学校や関係機関などと連携を取り、できる環境での支援を一緒に考えている。 | 今後も学校の先生や関係機関と連携を取りながら、将来を見据えて支援していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------------|---|
| 1 | 言語聴覚士や作業療法士を配置できていない。 | 新しく採用するには難しい。 | 様々な研修に参加し、スタッフ一人一人が知識を習得して支援に繋げるようにしたい。 |
| 2 | 施設内では、十分に体を動かすことができない。 | 室内で過ごすことを主に計画しているため、机などがあり運動に適さない。 | 外に遊びに行く機会を増やしていきたい。 |
| 3 | 保護者支援プログラムが実施ができていない。 | 立案・企画・実施できる職員の減少。 | 外部の講習会への案内や保護者交流会などを計画していきたい。 |